

道徳通信 6月

白山市立松任中学校 令和4年6月27日(月)



【知性】【品性】【感性】を磨こう

6月の道徳 心のテーマ「自律と責任」

1学期も残り一ヶ月となりました。4月にたてた目標に向かっての日々の心がけと行動は続けられていますか。日々の生活に慣れてくる中で、時には「頑張るぞ」という気持ちが少し薄れることもあるかもしれません。そんな時に自分の弱い気持ちに打ち克ち、小さな努力を続けていくことで、大きな目標を達成することができるのでしょうか。

今月は加賀地区ブロック大会やコンクール、中文連文化発表会など、3年生には大きな節目となる行事がありました。一人一人が自分の力を最大限に発揮することで、仲間とともに何かを成し遂げられたでしょうか。集団の中で自分が担う責任は何か、責任を果たすとはどういうことなのか。それらを考えて行動することで、自分自身、そして仲間と共に得られるものがきっとあります。得られたものを、是非次の機会に生かしてください。



～生徒の感想～

1年「落語が教えてくれたこと」の学習より

・人と関わるのは苦手だし、人を理解することはもっと難しいと思うので、今日出た大切なことを活かして、少しずつ人を理解できるようにしていきたいと思いました。

・人の気持ちを理解してあげるというのは、その人の判断で行った行動や考えを認めてあげることだと学びました。

・「短所は長所」という言葉がぴったりだと思いました。お人好しな性格は、ある人からみれば「短所」、ある人からみれば「長所」になる。周りにまどわされず、自分をつき通すのは大切だと考えました。

相互理解について考えました



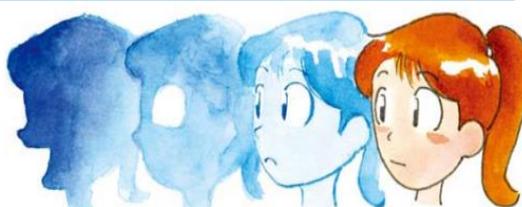
他の人

の立場や考えを理解していない自分



あなたには
自分のことを他の人にわかってもらえずに
傷ついた経験はありますか？
他の人に理解されないときってどんな気持ちだったでしょう？
相手が理解しなかったのはなぜでしょう？
反対に、自分が相手の考えを理解していなかったと
気づいたことはないでしょうか？

に気づいた経験はありますか？



人にはそれぞれの
事情があり、考え方もさまざまです。
相手の立場を考えながら、人間関係をつくっていくのは
大変だと思うときもありますね。
でも、相手の立場を考えた言動に
ホッと心があたったり
優しい気持ちになったりすることがあります。

～生徒の感想～

1年「いじめに当たるのはどれだろう」「傍観者でいいのか」の学習より

・いじめがどんなにひどいことか、あらためてわかった。ちょっとしたことがいじめにつながってしまうとわかったので、これから自分やまわりの人がしないように気をつけようと思った。

・僕はイジメをTVぐらいでしか見たことしかないの、本物はどれくらいつらいのかよく分かりません。でも現実では死を選ぶ人もいますほどつらいと知りました。だから僕はその始めをつくらないようにします。

・今日の授業のいじめの中で一番悪いのは、加害者だと思うけど、観衆、傍観者も同じくらい悪いと思いました。これからもいじめは無いほうが良いけど、あったら守る人になりたいです。

・「笑っているから嫌がっていない」「いやな顔をしているから嫌がっている」なんて、全て表情でわからないんだと考えさせられました。傍観者には極力なりたくないと感じました。

・いじめの種類は沢山あるんだなと思いました。いじめはダメって、いろんな所で言われ続けているのに、まだ起こっているのは怖いです。どんなに小さなことでも相手が嫌な気持ちにならないよう気をつけたいです。



・もし自分が「私」の立場だったら、Aさんに何か声をかけてあげられるかと思うと微妙です。いじめをなくすには、まず見て見ぬふりをする人を減らして、いじめをしている人にも、されている人にも、声をかければよいと思います。

・いじめを考えなくていいクラスになるといいなと思います。

中学生だもの
自分がすることは
結果まで深く
考える。



その考え、浅くはないですか？

行動する前にじっくり考えているだろうか？
その動機が自己中心的になってしまうことがないだろうか？
よく考えたつもりでも、結局自分のことしか考えていない……

自分は、まわりの意見に左右されないと胸を張るなら
それは、自分にとっても他の人にとってもよいことだといえるか？
自己主張のつもりが「自己チュー」だなんて、カッコわるい。

——判断し、実行をするとき
よく考え、深く思いをめぐらすことから始めよう。



みてるわよ、あなたがしていること。
あのね、神様じゃないわよ。
もうひとりのあなたがよ。
もうひとりのあなたがあなたをみているのよ。
見放されないようにね。嫌われないようにね。

漫画『ムーミン』より